

国際交流（韓国水原【スワン】市学生訪問団）

8月1日（水）、韓国水原市から中高生30名が来校し、本校生徒と交流を深めました。この研修生の皆さんは、現在、東川町の日本語研修生受入事業に参加し、3週間の日程で北海道に滞在します。

韓国水原市は旭川市とも姉妹提携を結んでおり、昨年度は、旭川市水原市青少年交流事業で本校の3年生2名が派遣されるなど、親交を深め合っている都市です。

本校ではこうした国際交流の機会を通して、グローバル的視野を広げることはもちろん、自国の伝統や文化とともに、他国の文化をも尊び敬う心を培っています。今年2月にも中国の短期日本語研修生を迎えての交流会を実施し、大変有意義な時間を過ごしました。



今回の交流会では、生徒会・英語部を中心に希望者を募り、約50名の生徒がこの交流会に参加しました。最初に本校ダンス同好会が格技場で歓迎のダンスを披露。リズム



カルな音楽やパワフルなダンスに、研修生の皆さんも言葉以上に共感を得ていた様子でした。また、鳴り止まぬ拍手に、ダンスを披露した生徒たちの表情にも成就感漂う笑みがこぼれていました。



本校校長の挨拶では、日本の伝統文化である詩吟が披露され、初めて聞いたと思われる研修生から大きな拍手が沸き起こっていました。

続いて行われた、生徒代表による歓迎の挨拶と自校紹介では、互いに相手国の言語が遣われ、その流暢さに参加していた教諭の方が驚かされました。



その後のグループワークでは、生徒同士が小グループに分かれ、自国のこと、家庭のこと、将来の夢や希望についてなどを語り合いました。また、部活動見学やカラオケ交流会なども企画され、短時間ではありましたが、中身の濃い親交を深め合うことが出来ました。